

核も戦争もない世界に 基地のある街から平和を考える

2019年8月1日(木)～4日(日)

午前9時～午後5時(初日は午後1時から 最終日は午後4時までとなります)

所沢市役所1階 市民ギャラリー



【8/4(日) イベント案内】

午後12時から

- 平和のうたごえ
- 講演
 - ①大久保賢一弁護士
 - ②被爆者からの訴え(坂下紀子さん)
- 合唱「再生の大地」・・・他

の
おは
あ
の
新
り

題字・絵 高橋玄洋(戦争展代表委員)

●主催 2019所沢・平和のための戦争展実行委員会

●後援 所沢市・所沢市教育委員会・所沢市基地対策協議会

【連絡先】自治労連・所沢市職員労働組合 所沢市並木1-1-1 8階 TEL 2998-9295
事務局 山田裕 所沢市北中3-19-77 TEL090-5520-6192/FAX 2925-4384

第32回 所沢 平和のための戦争展

★所沢飛行場の歴史

108年前、所沢に日本初の飛行場ができました。幅50m 長さ400mの滑走路と格納庫、3階建ての気象観測所がつけられました。あこがれの飛行機や飛行船を一目見ようと、連日、見物客であふれました。その後、飛行学校や整備学校もできました。



★米軍基地返還運動と東西連絡道路

戦後、旧陸軍の所沢飛行場は米軍のものになりました。1960年代になると、基地の全面返還を求める市民の運動が起こりました。その結果、1971年に基地の3分の2が返還されました。現在も97haの米軍通信基地があります。その中心部に幅16m 長さ580mの道路が来年、開通予定です。



基地ウォッチングに参加しよう！

8月2日(金)11時～法務局横のゲート前集合

★加害の歴史

アジア太平洋戦争で、日本は310万人もの犠牲者をだしました。しかしアジア全体では2000万人が亡くなったといわれます。戦争が、所沢の人びとにもたらした苦しみとともに、アジアの人びとの傷跡にも目を向けていきましょう。



731部隊 ボイラー棟

その他の展示（予定）

- 市民からおくられた戦争中の教科書や日用品や軍服など ●原爆の写真パネル
- 戦争と平和を描いたマンガや絵本 ●沖縄や福島原発など環境や平和について考える展示など
- 平和紙芝居や『はだしのゲン』などのアニメを上映します。

戦争展は夏休みの自由研究に役立ちます。クイズラリーなど楽しく学べる工夫がいっぱいです。係の人もたくさんいるので説明してもらえます。最終日の4日には抽選会も予定しています。

《映画「アオギリにたくして」上映会の案内》



「ヒロシマから愛の伝言」感涙の物語 待望の映画化！

8月7日（水）新所沢公民館ホールにて

映画鑑賞券前売り800円/当日1,000円（小・中・高生は無料です）

第1回 上映時間：10：30～

第2回 上映時間：14：00～

第3回 上映時間：18：30～

（問い合わせ先）

- ・金井 090-4717-8696
- ・山田 090-5520-6192

※資料提供のお願い…所沢の戦争中の事を知っている方が少なくなっています。お話だけでも結構です。事務局まで連絡して下さい。また、子どもたちなどによる、平和に関する絵や模型などの展示コーナーを設けたいので、こちらについても募集します。



核も戦争もない世界に 基地のある街から平和を考える

2019年8月1日(木)～4日(日)

午前9時～午後5時(初日は午後1時から 最終日は午後4時までとなります)

所沢市役所1階 市民ギャラリー



【8/4(日) イベント案内】

●講演

- ①被爆者からの訴え(坂下紀子さん) 12:10
- ②大久保賢一弁護士 13:00～
- ③絵本の抽選会 14:00～



題字・絵 高橋玄洋(戦争展代表委員)

平和のための
戦争展

●主催 2019所沢・平和のための戦争展実行委員会

●後援 所沢市・所沢市教育委員会・所沢市基地対策協議会

【連絡先】自治労連・所沢市職員労働組合 所沢市並木1-1-1 8階 TEL 2998-9295
事務局 山田裕 所沢市北中3-19-77 TEL090-5520-6192/FAX 2925-4384

2019年・第32回 戦争展の開催にあたり

事務局長 山田 裕

戦後74年も経ち「先の戦争が遠い過去のこと」になりつつあります。日本がどこの国と戦ったのかを知らない大学生が20%いるとの話も聞きます。

この戦争展は32年前、若い人たちに戦争の実態・実相をしっかりと伝えたいと始めました。今年の戦争展では、初心に戻り、できるだけ分かりやすい展示にしたつもりです。いくつかのブースに分かれて展示がされていますが、近くの説明員にどしどし質問して下さい。

所沢平和のための戦争展・歴史

(第1回 パンプ)



- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 第1回 (1988) | 所沢にも戦争があった |
| 第2回 (1989) | 中国帰還孤児をめぐって |
| 第3回 (1990) | 所沢から戦場へいった人々 |
| 第4回 (1991) | むかしここは基地だった |
| 第5回 (1992) | 基地のまち沖縄・読谷村 |
| 第6回 (1993) | 「731部隊」展 |
| 第7回 (1994) | 植民地だった朝鮮半島 |
| 第8回 (1995) | 「にんげんを返せ」被爆50年 |
| 第9回 (1996) | 教科書のなかの戦争 |
| 第10回 (1997) | 「毒ガス」展 |
| 第11回 (1998) | 地雷・731部隊と埼玉のネズミ |
| 第12回 (1999) | ユーゴ・湾岸戦争 |
| 第13回 (2000) | 「はだしのゲン」原画展 |
| 第14回 (2001) | 市内小学校にあった奉安殿 |
| 第15回 (2002) | 戦争と子どもたち |
| 第16回 (2003) | 空爆下の子どもたち (森住卓写真展) |
| 第17回 (2004) | 劣化ウラン弾 (森住卓写真展) |
| 第18回 (2005) | 軍隊のない国コスタリカ (森住卓写真展) |
| 第19回 (2006) | 遺棄毒ガス被害 (森住卓写真展) |
| 第20回 (2007) | クラスター爆弾 (森住卓写真展) |
| 第21回 (2008) | 核も戦争もない世界に (久保田弘信写真展) |
| 第22回 (2009) | 核も戦争もない世界に (丸木作品パネル) |
| 第23回 (2010) | 核も戦争もない世界に (丸木作品パネル) |
| 第24回 (2011) | 核も戦争もない世界に (丸木作品パネル) |
| 第25回 (2012) | 核も戦争もない世界に (広河隆一写真展) |
| 第26回 (2013) | 核も戦争もない世界に (広河隆一写真展) |
| 第27回 (2014) | 核も戦争もない世界に (広河隆一写真展) |
| 第28回 (2015) | 核も戦争もない世界に (学童疎開) |
| 第29回 (2016) | 戦後70年 平和のバトンをつなぐ (所沢の空襲) |
| 第30回 (2017) | 基地のある街から平和を考える (B29の所沢周辺への墜落) |
| 第31回 (2018) | 基地のある街から平和を考える (湖底に沈んだ村) |
| 第32回 (2019) | 基地のある街から平和を考える (教育勅語・731部隊) |
| | 基地のある街から平和を考える (核も戦争もない世界へ) |

2019戦争展の呼びかけ人(順不同・敬称略)

高橋玄洋 君島和彦 浜田萌子 小松扶美子 市川治彦 山田 裕

日本の少年兵



日本では、1944年ごろから敗戦の色あい
濃くなり、兵士の数が足りなくなりました。
アメリカ軍の上陸に備えて、沖縄な
どでは少年を兵士として戦争に参加さ
せました。1945年6月には「義勇兵役法」という法律をつ
くり、男子は15歳、女子は17歳から、国民義勇戦闘隊に入
って戦闘に参加できるようにしました。

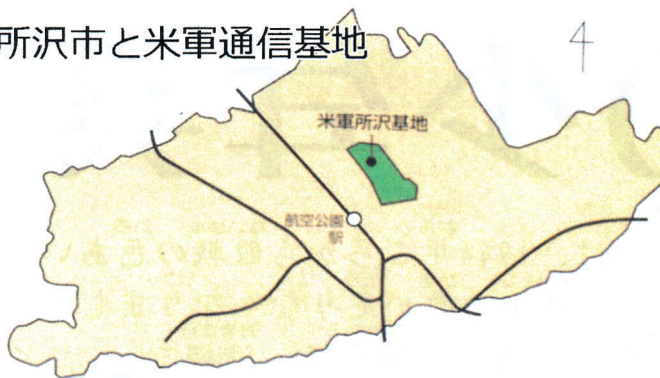


知られている少年兵

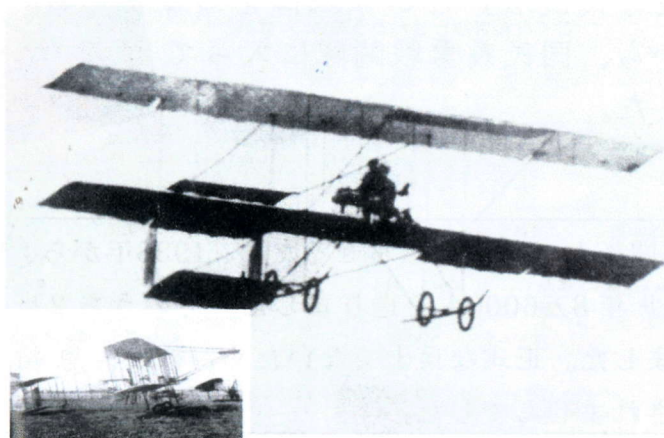
満蒙開拓少年義勇軍	満州国の開拓と国防にあたらせるため、1938年から、14～19歳の少年8万6000人を送りました。そのうち2万人が死亡しました。正式な兵士でないため、戦後、恩給などが保障されませんでした。
鉄血勤皇隊	沖縄県の旧制中学校などの生徒(14～16歳)、1780人が入隊し、約半数が死亡しました。
護郷隊	沖縄でゲリラ戦をするため、陸軍中野学校出身者たちが、14～16歳の少年1000人を集め訓練しました。160人が死亡しました。
ひめゆり学徒隊	沖縄県立第1高等女学校の二百数十人を看護兵としました。約半数が死亡しました。戦場の悲惨な体験は映画などにえがかれています。
白梅学徒隊 宮古高女学徒隊など	沖縄県には21の旧制中学校、女学校がありました。多くの生徒が、戦争に参加させられました。
県立愛知1中事件 (現旭丘高等学校)	1943年、県立愛知一中では、予科練に47人を志願させるよう海軍から指示がありました。700人の生徒が志願しましたが、卒業生や親の働きかけで56人が入隊しました。そのうち5人が死亡しました。NHK「15歳の志願兵」というドラマになり2010年放送されました。
予科練総決起事件	

学校の役割：学校ごとに割り当て数が決められ、教師が生徒や保護者を説得して
義勇隊に送ることがあった。

所沢飛



1911年、気球や飛行機の研究をすすめるため、日本で最初の飛行場が所沢にできました。幅50m長さ400mの滑走路がありました。長さ60mもある雄飛号やアンリ・ファルマン機を一目見たいと全国から大勢の人々が朝早くからお弁当を持って所沢に見物にやってきました。所沢飛行場には航空学校や整備学校もできました。



(日本で初めて空を飛んだアンリ・ファルマン機)

1945年、戦争が終わり所沢飛行場はアメリカ軍のものとなりました。アメリカ軍のトラックや戦車を整備する工場ができ、最大5,000人の人たちが働いていました。(所沢の人口は1945年頃、4万人です)



市民大行進の様子(昭和42年)

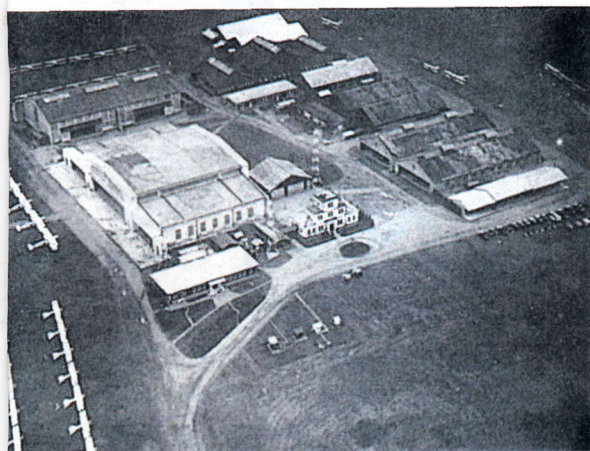
1960年代に入ると、まちづくりをすすめるうえでも、市の中心部に基地があることが大きな問題となりました。そして、4千人以上が参加した市民大行進などの基地返還運動が起こります。



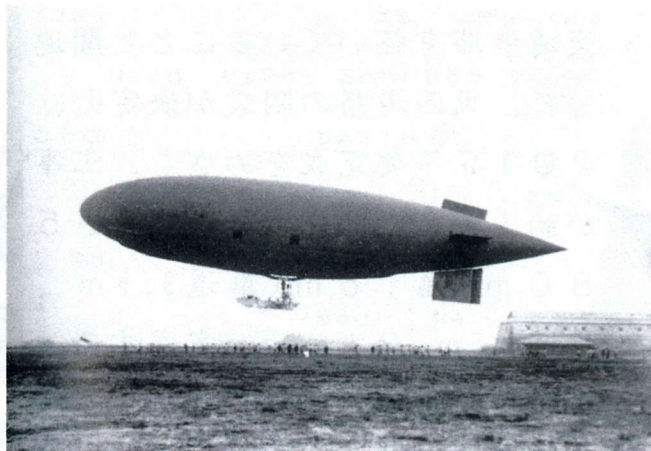
(現在の航空公園マラソンコースのスタート場所付近)

基地全面返還

行場の歴史



旧日本陸軍 航空技術学校の様子



(雄飛号の様子)



1971年には、基地の約6割が返還されました。現在の基地の広さは97万 m^2 です(メットライフドーム25個分)。横田基地から出る指示をアメリカ軍の飛行機に伝える通信業務を行っています。

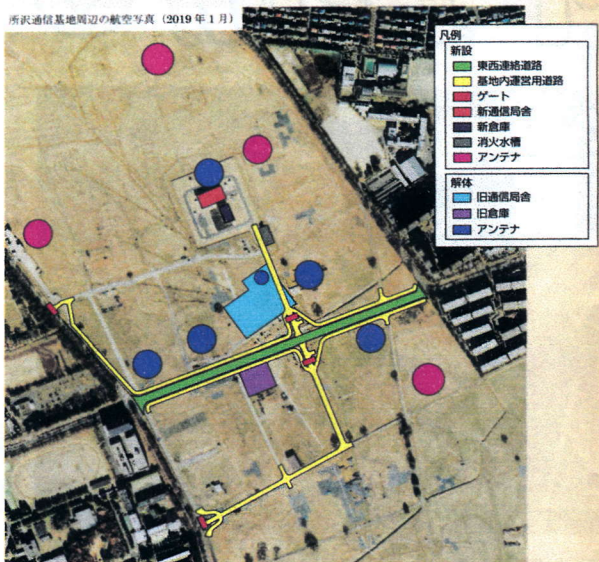


返還は所沢市民の願いです

基地全面返還は市民の願い

【東西連絡道路整備工事区域図】

所沢通信基地周辺の航空写真（2019年1月）



2012年3月、市の中心部の交通渋滞を招いていることと関連して、東西道路の開設が決定し、2019年度完成をめざし、工事が始まっています。道路は長さ580m 幅16m（車道3.5m、歩道4.5m 2車線）。完成すると市道3-114号線となります。

しかし、市民の願いは基地の恒久化ではなく、あくまで全面返還です。

<米軍 所沢基地の歴史>

年	《 内容 》
1945	米陸軍所沢進駐
1950	朝鮮戦争
1952	サンフランシスコ講和会議 日米安保調印
1954	「核戦争反対に関する」最初の決議（ビキニ被災）
1960	安保闘争
1961	基地の一部返還を決議
1966	米軍北ベトナムを攻撃 野戦病院設置反対の運動がおこる
1967	基地全面返還市民大行進（参加4,115名）
1968	基地対策協議会の発足
1970	兵站センター、相模原へ移転
1971	第1次返還（基地の60%が返還）
1972	跡地に「自衛隊くるな」の運動
1974	OTH（大陸弾道ミサイル探知装置）がわかる
1975	OTH撤去
1982	米戦略空軍通信網の増強計画「スコープシグナルⅢ」 ジャイアントトウクステーションの設置がわかる
1990	所沢市平和都市宣言の制定
1994	所沢基地返還運動推進大会（参加1,700人）
1997	入間河川敷に自衛隊のT33が墜落
2001	同時多発テロ
2004	基地内油流出事故
2005	核戦略近代化計画スコープコマンドが明らかになる
2006	平和の集い 第1次返還から35年 所沢基地1周平和ウォーク
2012	東西連絡道路建設が決定。幅員は16m延長、約580mの面積は約9,400m ² 。2019年完成をめざす。当初、市の負担金は4億620万円、国の負担金は13億円でした。が、2017年現在、3倍になり、基地対策協議会で検討しています。

えほんコーナー



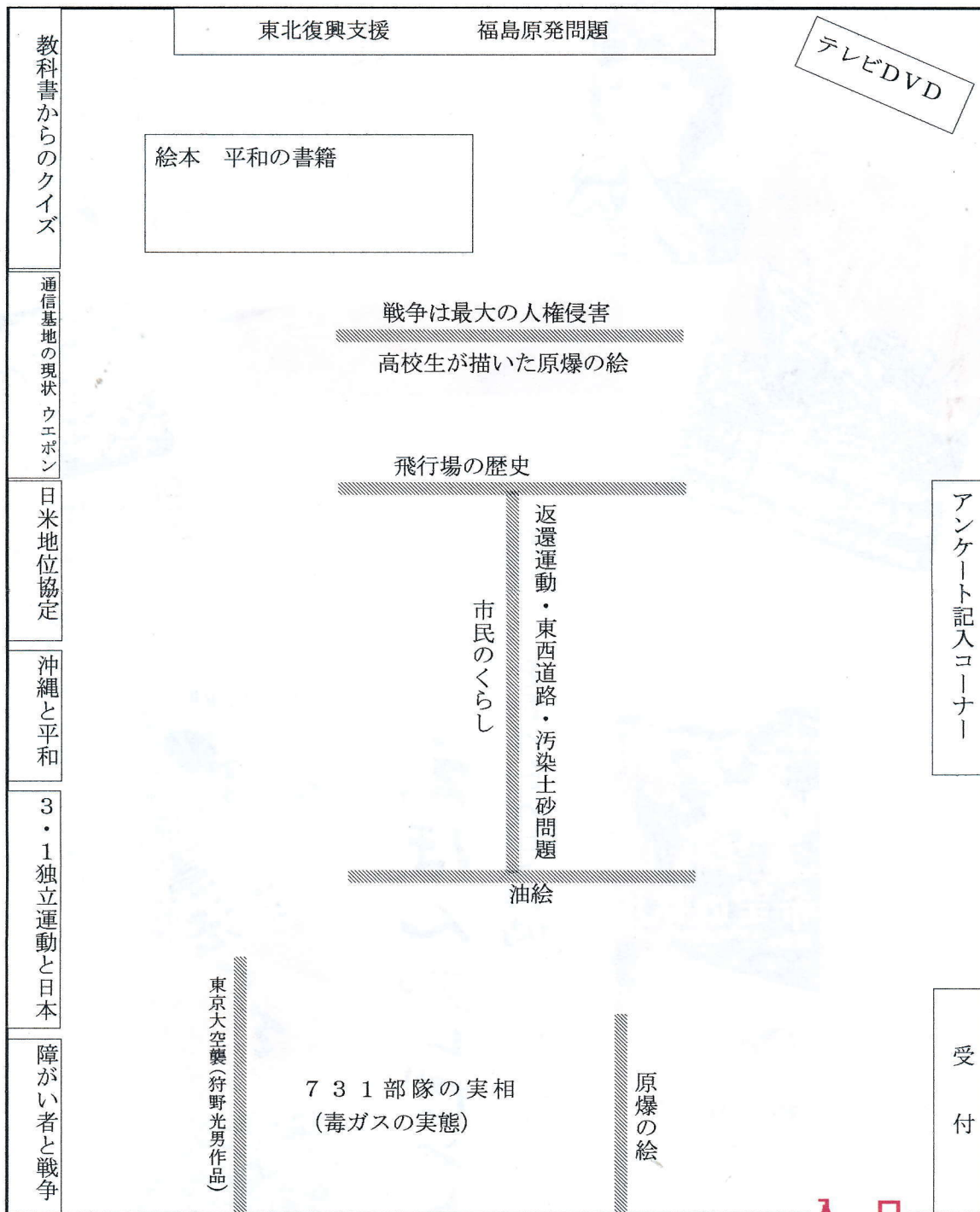
たのしいえほん
ためになるえほんが
たくさんあるよ。
みにきてね!



えほんプレゼント

8月4日(日)14時から
抽選・ききも
来てね。

会場展示の案内図



横田基地から所沢中心部へ、連日ダンフが100台 今すぐやめて！土砂の搬入

総量 37000 m³

工期 1 年間

通学路も走行

何故所沢に？
「処分するより安上がり」



市民の願い！基地全面返還を遠ざけます。

オスプレイから市民のいのちを守る所沢連絡会

連絡先：杉浦：090-6143-2270

背景にあるのは横田基地を抜本強化する動きです。

☆オスプレイ CV22 の横田基地配備(2018年10月5機→今後10機へ)

☆特殊作戦軍司令部建設、オスプレイ整備格納庫などの建設に伴い、

現在滑走路を横切る外周道路の切替工事で大量の土砂が出ます。

全国知事会は、日米地位協定を抜本的に見直し、航空法や環境法令などの国内法を原則として米軍にも適用させることなどを求めています。

こんなに危険！横田基地の土砂

2012～17年に米軍横田基地で起きた漏出事故

液体の種類	件数	漏出量(ℓ)
航空燃料	64	3445
ディーゼル燃料	8	3040
油	8	250
油圧作動油	17	530
その他(ガソリン、不凍液、泡消火剤など)	21	3324
合計	118	10588

※漏出量は四捨五入しているため合計が合いません

沖縄タイムス紙 2018年12月10日付

2019年2月4日
北関東防衛局

横田飛行場での工事に伴う発生土の所沢通信施設への搬入について

○概要

米軍は横田飛行場において北側の横田飛行場外周道路の切替工事(米軍直轄工事)を行っており、それに伴い発生する土砂について、2019年2月下旬から所沢通信施設へ搬入することを計画しています。

また、当該土砂の所沢通信施設への搬入に際しては、当該施設の西側に搬入用の仮設ゲートを2月上旬に設置することを計画しています。

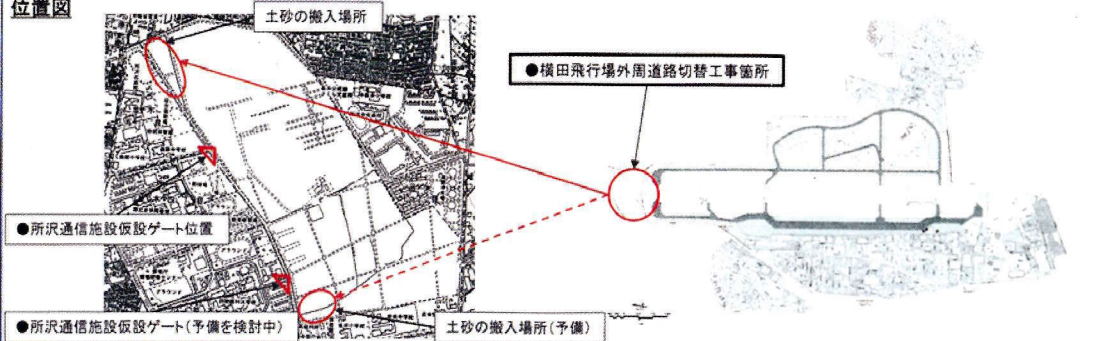
当局としては引き続き米軍と所要の調整を行い、可能な範囲で情報提供を行ってまいります。

○搬入計画

土砂の搬入期間：2019年2月25日～2020年2月24日

搬入予定量：約37,000m³

位置図



2月4日、最初に示された防衛省説明資料

米軍の調査は、所沢に運ばれる土砂ではありません。

防衛省は「米軍が土壌汚染調査を実施したので、国が再調査を行う必要はない」としています。

米軍が土砂汚染調査を行ったのは、2017年10月。所沢市に搬入される土砂ではなく、周辺土壌の調査です。

所沢市が責任を持って、運び込まれる土砂の調査を！

所沢市議会は、全会一致で搬入中止を求める意見書を採択
(2019年3月29日)

所沢市基地対策協議会(市・市議会・市民代表による)は、2回に渡り土砂の搬入中止を要請(2019年2月6日、2月27日)

藤本市長も、先頭に立って搬入中止を求めてください！

◎〈小・中・高校生、入場無料！〉

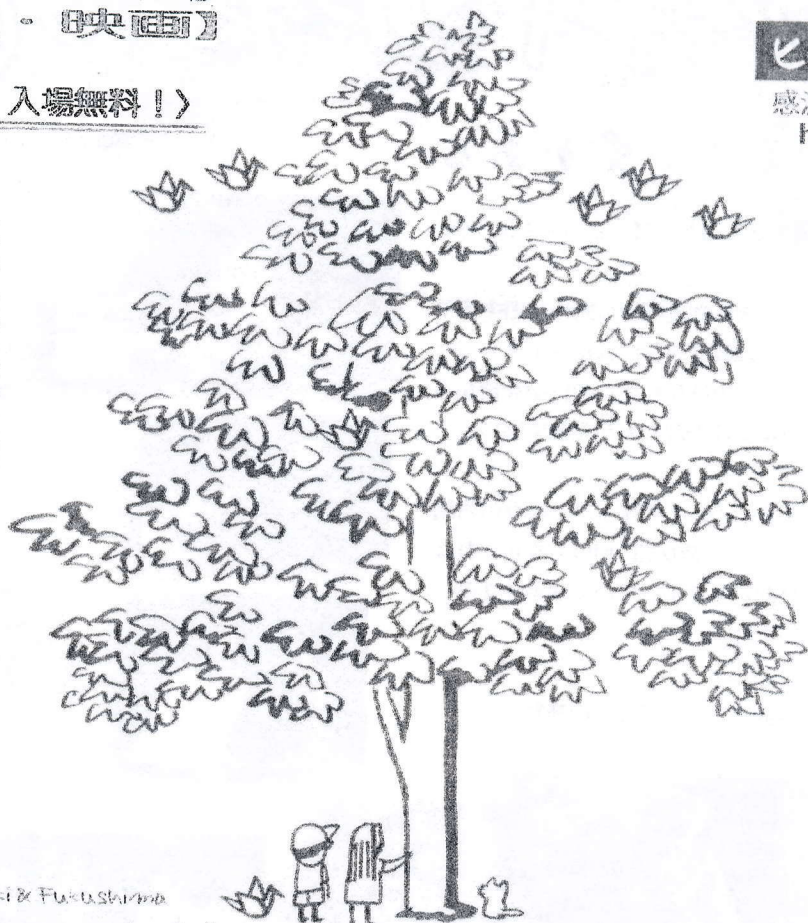
感涙の物語、待望の映画化!
<http://aogiri-movie.net/>

私も、この「映画」を推薦します！

弁護士 大久保 賢一

「世界中のだれにも二度と、同じ苦しみをさせたくない」という被爆者の方々の思いを、皆様と共にかなえていくことを願ってつくられた「映画」です。この「映画」を多くの家族・市民・学生のみならず！ ぜひ、ご鑑賞願えば幸いです。

広島平和記念公園の
被爆アオギリの木の下で
たくとんの子どもたちに
被爆体験を語り継いだ
ひとりの女性の物語



No more Hiroshima, Nagasaki & Fukushima

アオギリ=た<して



アオキリに
たくして

アオキリ下ナ<67

★経典文庫より、原作本「アオキリにたくして」(全8巻)にて絶賛発売中！
★サントラ盤CD「アオキリにたくして」(全12曲)は必見必聴にて絶賛中！
主役・持人役「アオキリにたくして」CDなへ！ 声優・演出・監督・中絶中

～絶望に負けないために流す
涙があることを
「アオギリ」が
教えてくれました～

風見しんご

出演：風見しんご 斉藤とも子 原日出子（特別出演） 渡辺裕之（友情出演） 菅井玲
塩出純子 牛島摩弓 柏木佑太 はらまいこ 二橋進 甲斐将馬 大橋芳枝
原田康夫（元広島大学学長） 松井一實（広島市長）

企画・制作：城島プロデュース / 中村望美 原作・脚本・監督：中村将弘 プロデューサー・音楽監修：伊藤清利 副監督：中根史 撮影監督：森本由人 編集：佐久間雄一 照明：黒崎裕之 録音：山口広 BGM担当：菅原隆 RGA
演出補佐：美術：中根信太郎、高橋昌浩 ヘアメイク師：松浦真由子 スタイル：AKASHI 音楽実行：寺嶋信也 衣装：イリス / フライヤークラウド 吉田礼仁 ■ 2013年ウィキタサイズ ステレオ・2013年度賞レースの選
映権付与者 / 日本映画 本作はウィキメディアのアナリティクスとして制作された。主演役を日本人「アナリティクス」に決めたのは、作務・作曲：中村望美（※前編 見逃し、後編のみ 広島県立総合文化センター 中央会館大会
広島県立総合文化センター蔵書館蔵・B級県立美術館蔵・広島県立美術館蔵 広島YMCA・広島YWCA ▲変態・樹洞洞夫・成田健太文化財団主催上映 ロマニエ・スクリーン・フェスティバル2012） ※お問い合わせ：info@enuecure.com

アオギリにたくして

時を超えて伝えたい愛がある

「神様は本当に意地悪だ」結婚式まであと三日、私の人生は一変した――。

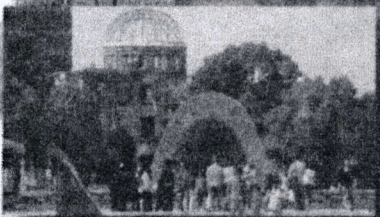
広島で被曝したアオギリの苗を全国各地で植樹し始めた田中節子。世界的に広がりつつあるこの活動に興味を惹かれたライターの小桐千草は、取材中に知り合った節子の妹から彼女の日記を預かる。そこには、原爆により足を失った女性の苦しみと克明に綴られていた……。

実在の被爆者・沼田鈴子さんをモデルに、アオギリと彼女の奇蹟の物語を実話に基づき描いていく。絶望の淵に何度も立たされながら、やがて彼女は平和の語り部として生きていく決意をする。彼女がアオギリにたくした思いとは……。

壮絶な人生を歩んだ女性の、過酷にして清澄な愛の軌跡。



平和の種を人々の心に時を越えた実話に基づく感涙の物語



「アオギリにたくして」は、広島平和記念公園の被爆アオギリの木の下でたくさんの子供たちに被曝体験を語り継いだ沼田鈴子さんをモデルとした映画です。東日本大震災が起きて4ヵ月後の2011年7月12日、被災地の人々や福島原発の事を案じながら沼田さんは永眠されました。「生きて、伝えなければ……」亡くなる一ヶ月前、沼田さんがおっしゃられた言葉が今も忘れられません。原発と原爆の違いはあっても放射能の恐ろしさは同じです。私たちは今一度、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の声にしっかりと耳を傾け、日本と世界、そして地球の未来を考えていく時を迎えています。「世界中の誰にも二度と同じ苦しみをさせたくはない」と願う沼田さんの思いを、日本、そして世界の人々と共に叶えていく映画となることを願っています。この映画を観てくださった方々の心に、被爆アオギリにたくされた思いを届け、平和の種がまかれていくことを祈っています。

No more Hiroshima! No more Nagasaki! No more Fukushima!

映画「アオギリにたくして」プロデューサー・中村里美

<http://aogiri-movie.com/>

●企画・製作：中村里美 ●監督・脚本：中村悠斗 ●プロデューサー・音楽：伊藤茂利 ●原作：「アオギリにたくして」中村悠斗（新聞文庫）
●製作・配給：ミュージアの里 ●助監督：中根克 ●撮影監督：倉本和人 ●撮影：佐久間栄一 ●照明：淡路信之 ●録音：山崎純一 ●編集：山崎純一
●MA：山下裕隆 ●美術：中根加代佑・与謝典康 ●ヘアメイク：村松直美 ●スチール：AKIRA・鈴木清・佐藤和雄 ●アドバイザー：山崎純一
●衣装：東京衣装・ビッグウッド株式会社 ●イラスト・題字：吉田しん子 ■2013年 / ヴィスタサイズ ステレオ / 2013年度社会科コースの生

2019年（第32回）

『所沢平和のための戦争展』

8月1日(木)～4日(日) 午前9時～午後5時
(初日は午後1時開会・最終日は4時まで)

会場 所沢市役所1階・市民ギャラリー

4日(日)市民ホールにて、平和のイベントがあります！

後援：所沢市 所沢市教育委員会 所沢基地対策協議会

8月7日 水 「アオギリにたくして」上映時間(3回上映)
①10:30～ ②14:00～ ③18:30～

新所沢公民館ホール

(西武新宿線・新所沢駅西口下車徒歩7分 ☎042-924-2955)

映画鑑賞入場券 前売 一般800円(当日1,000円) 小中高校生無料

●主催／「所沢平和のための戦争展」実行委員会

●問合せ／金井(090-4717-8696) 山田(090-5520-6192)

●配給／埼玉映画文化協会 ☎048-822-7428

※映画上映の前に、統括プロデューサーのあいさつがあります。(予定)※